令和７年度　指定管理者モニタリング報告書

施　設　名	加東市産地形成等促進施設・道の駅とうじょう
施設所在地	加東市南山１丁目５番地３
指定管理者	名　称　株式会社　夢街人とうじょう 代表者　代表取締役社長 [redacted] 住　所　加東市南山１丁目５番地３
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載した。
担　当　課	産業振興部　商工観光課　　℡　0795-43-0530 担当者氏名　竹内　誠彦・上月　慧太

１　総合コメント

施設内は清掃が行き届いており、適切に管理されている。利用者アンケートの結果、スタッフの顧客対応や、事業及び施設管理の内容について支持する声が大半であり、全体として良好な運営がなされている。

特産館は、当期から季節に応じた加東市の果物フレーバーを販売し、SNSと連携することでソフトクリームの売上を向上させた。また、近隣市町の道の駅と情報交換を行い、季節と地域のイベントに応じた商品を計画的に仕入れ、演出を施したことで売上は前年度比全体として前年度比109.7%の増収となった。

農産物直売所は、桃、いちご、ぶどうの入荷量が増加し、生産者との連携を強化したことで、販売機会を逃すことなく売上向上に繋げ、前年度比101.8%の増収となった。

コンビニは、物価高の影響により買い控えの傾向にあったため、売上は前年度比98.5%となった。

引き続き、特産館、農産物直売所においては、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得により取扱商品の充実を願う。特に農産物については、売り上げの核となるいちご、ぶどう、桃を加東市ブランドとして需要に対応できるよう商品確保に努めていただきたい。

利用者アンケートの結果、利用者の約23%が市内在住者であることからも、当該施設が地元生産者と地域の顧客からも支持されていることがわかる。

また、大阪府をはじめ県外在住者が約25%占めており、施設満足項目についても地元特産品が豊富で安いという声が約40%を占めていることから、地場産品の流通を通じた地域活性化を実現できている。しかし、前年度の同アンケート項目が約52%であったことから、より一層の地場産品のPRを図っていただきたい。アンケート項目が「豊富・安い」となっているので、アンケート結果が昨年度より振るわなかったのは物価高騰の影響も考えられる。

今後とも適切な指定管理業務を遂行していただきたい。

２　今後の改善に向けた考え方

特産館、農産物直売所では、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得により取扱商品の充実を継続してほしい。

ＳＮＳで旬の農産物や新商品、地元の情報を紹介して加東市・北播磨地区の特産品や地域性をアピールし、来店を促すよう働きかけていただきたい。

３　業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

４　サービスの質について

利用者アンケートによると、職員の接客態度を評価する割合が多く良好であった。加えて、店舗及びトイレがきれいという声が多く、日々の清掃及び点検も正しく行っており良好であった。

また、大型車の騒音対策として、駐車場内の見回りとアイドリング防止の呼びかけを警備会社へ依頼したことや、第二駐車場の普通車区画に車止めやポールを設置した。

その他アンケート結果の改善点を踏まえ、引き続き関係機関と連携し、満足度が低い取組を改善しながら運営していただきたい。

５　収支状況等について

特産館の売上は前期比109.7%、農産物直売所の売上は前期比101.8%、コンビニの売上は前期比98.5%、全体で100.7%と微増となっている。

また、今年度は騒音クレーム対策の警備派遣を中心とした一般管理費が大幅に上昇したため、経常利益が204万円の損失となった。

中東情勢による原油高や近年の物価上昇など、厳しい経営環境が続いているが、今後も市場変化に対応した取組や事業の提案に取り組んでいただきたい。